

中国における倫理学の成立と日本思想との交流

龔 穎(中国社会科学院哲学研究所教授)

はじめに

明治維新の後、日本における西洋倫理学 (Ethics) の受容が本格的に展開されてきた。それ以来、倫理学という専門分野が導入期、改造期そして自立期、創造期などの幾つかの発展段階を経て個性に富む日本近代倫理学を作り上げてきた。そのうち、1920年代までの日本において収められた倫理学関係の翻訳と研究の成果が、草創期に当たった近代中国の倫理学に多大な影響を及ぼした。本論はこの影響関係の実況を具体的に考察し、このことを通して西洋倫理学の受容と変容をめぐる近代初期の日本と中国との思想交流の一端を明らかにしたい。